

## 東北次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 2022 年度第 3 回山形県がん化学療法セミナー
1. 担当分野
薬学研究科
2. 実施年月日
令和 4 年 10 月 16 日
3. 開催場所・開催方法
Zoom による Web 開催
4. 関連分野・領域
がん化学療法
5. 対象者
薬剤師
6. 参加者について
参加者合計人数 : 52 名  以下の内訳について教えてください 学内参加者数 : 0 学外参加者数 : 52 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学での参加大学数 : 1 東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学 <u>以外</u> の参加大学数 : 0  なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください (医師、薬剤師、看護師、など)
7. 成果
2022 年 10 月 16 日 (日) に 2022 年度第 3 回山形県がん化学療法セミナーを「肝細胞癌」をテーマに web 形式で開催した。 第一部では、薬薬連携をテーマに日本調剤 山形大前薬局 伊藤史恵先生とみやぎ県南中核病院 薬剤部 山寺文博先生よりご講演頂いた。第二部では山形大学医学部 内科学第二講座 准教授 芳賀弘明先生より肝細胞癌についてご講演頂いた。 伊藤史恵先生から「抗がん剤治療における当施設の薬薬連携の取り組み」と題し、新設された特定薬剤管理指導加算 2 の算定について山形大学医学部附属病院との連携方法を含め説明頂いた。トレーシングレポートやテレフォンプォロアアップによる薬薬連携実施の課題について、近隣保険薬局薬剤師を対象に行ったアンケート調査について報告いただき現在の課題について発表頂いた。山寺文博先生から「MMWIN を活用した仙南地区における地域保険薬局とのがん診療薬薬連携について」と題し、連携充実加算の算定要件への自

施設の対応を説明頂いた後、宮城県で稼働している医療福祉情報ネットワーク(MMWIN)を用いた保険薬局との体調チェックシートの共有について講演頂いた。保険薬局からも服薬情報や患者の過去情報が閲覧できると評価がある一方で、運用充実に向けた加入者の増加などの課題についても説明頂いた。芳賀弘明先生より「肝細胞癌の薬物療法の進歩と展望」と題し講演頂いた。肝細胞癌の疫学について解説頂き、肝細胞癌の治療方法として局所療法、TACE、全身化学療法、放射線治療について自施設の治療変遷を踏まえて説明頂いた。全身化学療法では各種治療薬について臨床試験の結果や注意すべき有害事象について解説頂き、分子標的治療薬のほかICIも使用することが可能な肝細胞癌の治療アルゴリズムについて分かりやすく解説頂いた。

薬薬連携の現状と課題ならびに肝細胞癌の薬物治療の変遷について理解を深めることができた有意義な研修会であった。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】